

公開研究会「歴史のなかの地図・空間描写Ⅰ 測量」

2006年7月24日(月) 14:00～17:00

於:東京大学山上会館2階201・202室

入場無料

下記の通り公開研究会を開催します。聴講希望者は、レジュメ作成上、事前に下記までお申し込みいただければ助かりますが、当日飛び込み参加も歓迎します。

鈴木純子氏

(日本国際地図学会地図史専門部会主査・元国会図書館地図室)

「地図と測量—18～19世紀、近世から近代へ—」

○コメント 小野寺淳氏(茨城大学)

渡辺誠氏

(富山市科学文化センター主幹学芸員)

「加賀藩の事例を中心とした、測量器具と地図作成について」

○コメント 鳴海邦匡氏(大阪大学)

鈴木氏には、近世から近代にかけての測量の展開を、渡辺氏には、測量器具の全国調査・器具復元を踏まえた、実際の器具による測量方法について、ご報告いただきます。

科学研究費補助金・基盤(A)「地図史料学の構築」(代表・杉本史子)

東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター

共催

〔お問い合わせ先〕

「地図史料学の構築」事務局(千葉)

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学史料編纂所内

TEL: 03-5841-8411 / E-Mail: kashi061@hi.u-tokyo.ac.jp